

ソフトボール大会・野球大会ひらかる

日刊 勤労千葉

82.12.4
No.1211

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電二九三五ノ六・公衆電話三三二七二〇七)

秋空の下で、全11支部が力と技を競う

ソフトボール大会(11月18日)

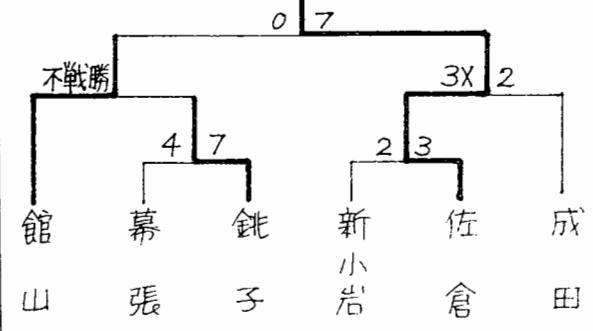
勤労千葉秋季ソフトボール大会は、11月18日天台スポーツセンターに全支部から130名が参加し熱戦を展開しました。終日、気合いの入った好プレーにグラウンドはゆきかえり、Aグループでは津田沼支部が、Bグループでは千葉転支部がみごと優勝をかざりました。

- 最高殊勲選手 津田沼支部 川口春男君
 千葉転支部 猿田融君
 賞勝浦支部 君塚成夫君
 幕張支部 丸山美雄君

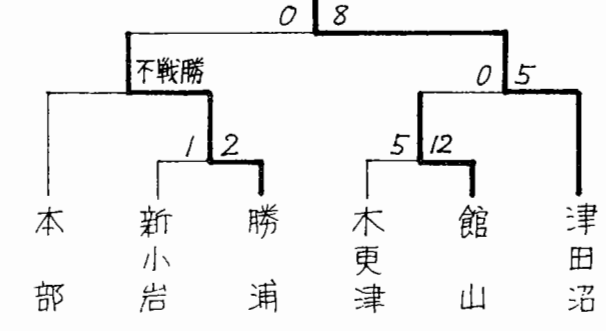
野球大会(11月20日、24日、26日)

勤労千葉サークル協秋季野球大会は、千鉄更科球場において11月20、24、26日の三日間に亘り開催されました。今大会は、A、Bの2グループに分けて優勝を争いましたが、日程の都合で最終決勝戦はとりやめとなりました。特に、新鋭銚子支部が優勝候補の筆頭幕張支部を延長の末破った一戦は、今大会を大きく盛り上げました。A、Bは佐倉、幕張、津田沼の両チームが各々優勝しました。

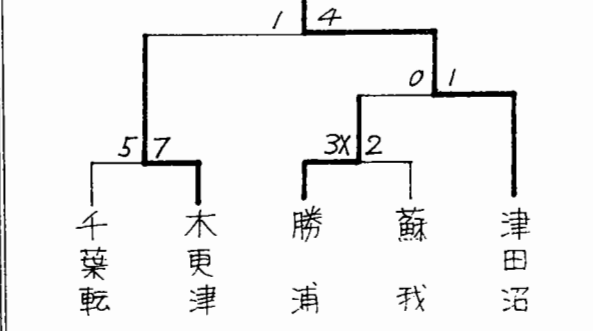
Aグループ 優勝-佐倉支部、準優勝-館山支部



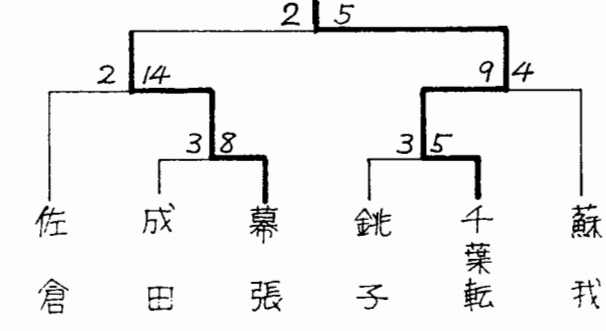
Aグループ 優勝-津田沼支部、準優勝-勝浦支部



Bグループ 優勝-津田沼支部、準優勝-木更津支部



Bグループ 優勝-千葉転支部、準優勝-幕張支部

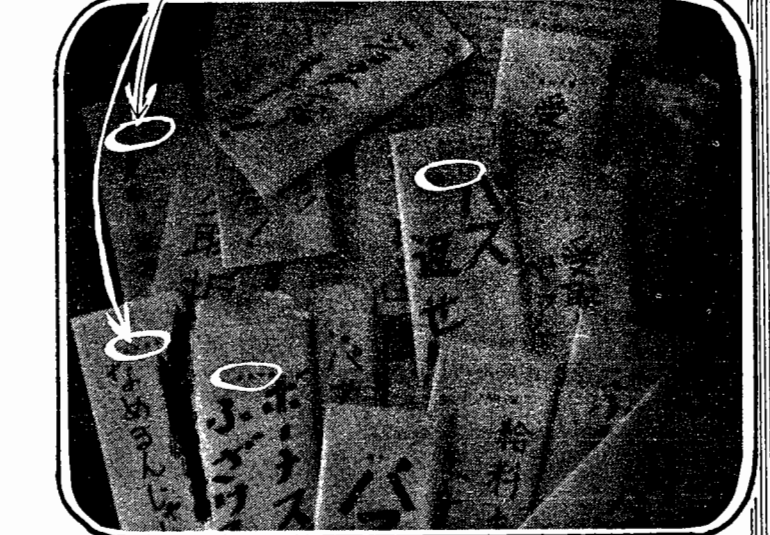


マル生運動推進を呼びかけた局長
 文書=手紙(日刊) No.1194(参照)を、全員で現場長に叩き返した取場の闘い(1982年11月~12月)



「フザケルな! こんな手紙!」
 「局長文書は受けとれない!」
 (勤労千葉組合員)

ウーム...困った...
 おと存しく受けとってくれたのに...
 国鉄再建のために...
 (現場局長)



当局の不当な「現地」破壊攻撃に、取場の闘いで実力反撃せよ!
 「要求」や「権利」は、取場の血と汗をもって、自分たちの力で闘いとるもの。取場の力関係が一切を決める。12月1日をもって突入した「無投約」下での闘いを、戦闘的気概で、創意工夫・団結力を存分に発揮して大胆につくり出し前進しよう! 勤労千葉の底力を見せつけてやろう!

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!